

## 平成24年度研究科横断型教育プログラム(Bタイプ)授業科目

開講方式	Bタイプ (特別開講型)	研究科名	文学研究科	横断区分	文理横断型	開講場所	文学研究科 第12演習室 (総合研究2号館 地階)
授業科目名	研究科横断型教育科目(Bタイプ) 「応用倫理入門」			講義担当者 所属・氏名	文学研究科・水谷雅彦、 文学研究科・伊勢田哲治 ほか交渉中(リレー講義方式)		
配当学年	修士 博士後期 専門職	単位数	1単位	開講期	10月11、25日 11月1、8、29日 12月6、13、27日 (木)16時30分～18時	授業形態	リレー講義
〔授業の概要・目的〕							
<p>「応用倫理学」は、さまざまな実践問題の領域における倫理的思考の総称である。一般にもよく知られた生命倫理、環境倫理のほか、情報倫理、工学倫理など、応用倫理学で扱われてきた領域は多岐にわたる。これらさまざまな領域の倫理問題は、領域に特有のものもあれば、複数の領域に共通して発生する問題もある。本講義では、さまざまな応用倫理領域について横断的に学ぶことで、そうした特有性と共通性について見通しを得ることをめざす。</p>							
<p>【研究科横断型教育の概要・目的】</p> <p>これまでの大学院教育では学術的な能力に重点が置かれ、研究者や専門職としての倫理性などは特に教育の対象となっておかなかった。しかし、研究者であれ他の専門職であれ、高い倫理性が社会的にも期待され、また、現代社会の円滑な運営の上でも専門職がみずから責任を引き受けることが重要である。本リレー講義は、そうした本格的な専門職倫理教育の前段階として、実践問題に応用された倫理というものの全体像をつかんでもらうことを目指す。</p>							
〔授業計画と内容〕							
<p>採用する教科書(下記)から8つの章を選び、一回の授業につき、原則的に一つの章を取り上げて議論を行う。受講者には、あらかじめ当該の章を読んだ上で授業に出席することが求められる。</p>							
〔履修要件〕							
なし							
〔成績評価の方法・基準〕							
発言・意見表明等の授業中のパフォーマンス(評価の3分の1)、出席回数(同、3分の1)、レポート成績(3分の1)。							
〔教科書〕							
戸田山・出口編(2011)『応用哲学を学ぶ人のために』(世界思想社)							
〔参考書等〕							
授業中に適宜指示する。							
〔その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)〕							
授業中に適宜指示する。							